

若いけど！

Vol. 15 / 2017年08月01日発行

おばちゃん通信



今年度も私は教育福祉常任委員になりました。また、引き続き、中学校完全給食実施等検討特別委員、新たに始まった広報広聴会議委員も担っています。6月25日に行われた選挙により、新しく上地克明市長が誕生すると共に、市議会議員も2名誕生し、内一名の加藤ゆうすけ議員が私たちの会派、無所属みらいに加わり、無所属みらいは8名となりました。

横須賀市議会では今年5月より、「通年議会」を導入しました。会期を毎年5月中旬から翌年の4月末日までのほぼ一年とし、それぞれ3,6,9,12月の「定例議会」で議案等の審議を行うことになりました。これにより、一層の市政へのチェックや政策立案が強化されると共に、緊急時に速やかに会議を開くことができるようになります。さて、ここで6月定例会での主な内容を教育福祉常任委員会を中心に紹介します。

☆平成29年度 保育所等利用待機児童数について



4月1日現在の保留児童数は129人、待機児童数は12人。保留児童数とは利用申込児童数から利用児童数、辞退者数を引いたものです。その保留児童数から求職活動の休止、私的理由による待機、保護者が育休中の児童数を引いたものが国の定義による“待機児童数”となります。昨年度の段階では待機児童ゼロを達成する見通しだったようですが、マッチングがうまくできずに、結果待機児童が生まれてしまったそうです。

行政センター別の待機児童を算出し、去年は追浜、衣笠地区で定員を増やしてきました。久里浜地区では待機が昨年より増えています。地区ごとの対応が求められています。

☆横須賀市総合福祉会館 施設配置適正化について

本市では公共施設の集約・統合が進められています。横須賀市総合福祉会館の消費生活センター、デュオよこすか、更生保護サポートセンターが産業交流プラザに移転し、産業交流プラザとヴェルクよこすかの貸室機能が、総合福祉会館に集約される計画です。また、今ある産業交流プラザの機能はなくなるため、指定管理料（H27年決算 約2900万円）が不要となります。ただし、貸室収入分や保守管理経費等の固定費を差し引くと、実質効果額は2000万円程度となる予定です。

☆陳情第5号 横須賀市立図書館における公衆無線LANの導入について

市内の大学生から、市立図書館に公衆無線LANを設置してほしい旨の陳情が出されました。教育委員会は今後利用者ニーズを調べるようですが、陳情は、趣旨了承となりました。



☆議案第 51 号 指定障害福祉サービス等の事業の人員等に関する基準等を定める条例中改正について

障害者グループホームの設置基準についての条例があり、その改正案が出されました。入居定員を 10 人以下とする内容です。それ自体に対する質疑は少なかったのですが、今回質疑が集中したのは、改正を見送った部分にあります。「グループホームの立地を、グループホームを利用する方が日中活動を行う通所サービス系事業所の敷地外にする」という立地要件が、条例改正に織り込まれなかったのです。利用者の高齢化等により、敷地外への通所が困難な場合があるなど、立地要件に反対する声が多かったことが理由とのこと。しかし同一敷地内では、地域との交流による社会とのつながりが薄れる等のデメリットも懸念され、今後は立地要件を考える必要があります。福祉部は今後当事者の意見を聞き、今年度中にはその結果等について報告をする、という答弁を受け、この議案は可決されました。

【お知らせ 1】 中学校完全給食の方式が決まりました！

7 月 21 日の教育委員会定例会において、中学校完全給食が「センター方式」と決まりました。給食をつくるセンターを市内に一か所整備する予定です。センターが整備される場所等、今後も話し合われるべき課題は多いですが、できる限りの早期実現を、と総合教育会議でも挙げられていました。続報は追ってお知らせいたします。



【お知らせ 2】 横須賀市就労準備支援センターねくすと、オープン！



以前一般質問でひきこもりの就労支援について質問しました。そこで回答のあった就労準備支援センターが、実現しました。6 月 23 日に小川町にオープン。長く社会生活から離れてしまっている方が、急に就職するのは難しい。そのための準備をする場とのマッチング等を行うセンターです。利用希望の方はまず横須賀市の生活福祉課自立支援係へお問い合わせください。

【おばちゃんレポート】 ～池田市発“地域分権”について～

大阪府池田市の地域分権制度について視察へ行きました。キーワードは「自分たちのまちは自分たちでつくろう」。これは個人住民税収入のうち、1%分の予算の使いみちを、市民に委ねる制度です。市内 11 の地域コミュニティ推進協議会で、それぞれ 600 万円～800 万円程度の予算の使いみちを提案することができます。横須賀市では地域運営協議会があり、今年度より交付金は 50 万円、地域支援のための交付金として、地域の発意に応えられるよう、1 地区あたり上限 100 万円の交付金が創設されました。池田市では 10 年前から「地域分権」を導入していて、より地域のニーズにあった事業を行うことができているそうです。課題等もあるようですが、参考にしたい制度です。

【ぶち情報】 文部科学省平成 29 年の調査によると、全国の公立小中学校普通教室のエアコン設置率は 49.6%。横須賀市の公立小中学校普通教室のエアコン設置率は 100%となっています。

おばたさおりプロフィール

1985 年 10 月 3 日生まれ。平作小、池上中、横浜市立金沢高校卒業。UCLA 政治学部卒業。学習塾、フリースペース勤務を経験。2015 年横須賀市議会議員選挙にて 5625 票を得て、当選。会派：無所属みらい
移動事務所：080-1161-4031 または info@obatasaoiri.com ブログも更新中です！